

令和7年度（2025年度）学校評価報告書

令和8年（2026年）3月25日

北海道教育委員会教育長 様

北海道室蘭聾学校長 宇野 宏之祐



次のとおり令和7年度（2025年度）の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

令和7年度学校経営の重点

- ①法規法令、学習指導要領に基づく教育の実施
- ②学校経営方針を踏まえた従前の取組の見直し
- ③クリエイティブ思考により新たな取組を創造

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

| 評価項目 | 自己評価の結果 | 学校関係者評価の結果 |
|------------|--|---|
| 学校経営 | ・経営方針の達成に向け、多くの職員が方針を意識した取組を行う一方で、保護者へより一層の理解を促していく必要がある。 | ・今年度の中途からInstagramによる情報発信を始めたところでもあるので、現在はその知名度を上げていく時期であると捉えている。 |
| 改善方策 | ・学校のWebページやInstagramなどを通じて、学校の取組や魅力を保護者や地域に対して積極的に発信していく。 | |
| 教育課程 | ・障がいの重複化・多様化に応じた教育課程の改善を進んでいる一方で、ICTを活用した授業改善に課題がある。 | ・生成AIに関して、まずは教職員が使いこなせるようになった上で子ども達への指導を行っていくことが大切である。 |
| 改善方策 | ・生成AIなどの活用も取り入れながら、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した授業改善に向けた研究・研修の充実に努めていく。 | |
| 保護者・地域との連携 | ・地域資源の活用やセンター的機能の充実が図られる一方で、災害発生時等における情報共有等に課題が見られた。 | ・災害発生時の避難者の受入について、あらかじめ市役所の担当部署との連携を図っておくことが重要である。 |
| 改善方策 | ・災害発生時等における自治体等からの情報収集及び校内への指示・伝達の在り方について見直すとともに、地域の関係機関とのネットワークを強固なものにしていく。 | |
| 働き方改革 | ・資料の事前配付や目的を明確化することなどにより、会議運営の効率化が図られた一方で、学校行事や分掌業務の見直しを図る必要がある。 | ・学校規模に関わらず、1つの学校で担わなければならない業務はほとんど変わらないため、業務のスリム化にも限界はあるのだと考える。 |
| 改善方策 | ・働き方改革コアチームの中で、学校の小規模化を見据えた業務内容の精選と効率化について、組織的に検討を行っていく。 | |
| 公表方法 | ・本校Webページでの公表 ・学校だよりへの掲載 | |

3 添付資料

- 令和7年度（2025年度）教職員による学校評価（集計結果）